

# 佐賀大学教職大学院

## 院生ライフレポート

佐賀大学  
教職大学院  
広報誌第5号

2017年  
9.10月

### 後期授業スタート！その前に・・・掃除で心も教室も一掃！



10月2日より後期の授業に突入しました。授業開始に向けて「後期も全力投球！」の気持ちを込め、現職教員、ストレートマスター(以下、ストマス)全員で各教室の掃除を行いました。どの教室もすっきりぴかぴかになり、新たな気持ちで最初の授業に臨むことができました。「環境を整えることで、やる気をつくる！」とても大切なことだと全員で感じた時間となりました。

### 充実しています!! 探究実習(現職教員・ストマス)に奮闘!

#### いろいろな声を聞きました!

\* 探究実習とは・・・「学校教育現場の諸課題に対応し、課題解決できる力を目指して行われる実習です。高度な専門性と実践的指導力を備えた教員となれるよう、各学校・地域との連携・協働のもと行います」



大学院の実習は、学部生の時とは違い、自らの問題意識を改善するために行います。大学院で学んだ理論とギャップが多くありますが、理論を活用した授業研究を現場でどの程度扱うことができるのか挑戦しています。様々な挑戦ができるところが教職大学院の良さだと感じます。(ストマスO・・・高校実習にて)

子供たちから“先生”と呼ばれることにまだ慣れません。しかし、子供たちが先生として頼ってくれているということを感じることができる瞬間でもあり、素直に嬉しいです。まだまだ実習は続きますが、これから教壇に立つ立場であるという自覚をしっかりとつためにも、現場の先生方の姿をしっかりと目に焼き付けて、子供たちと共に成長していきたいです。(ストマスF・・・小学校実習にて)



異校種実習ではこれからの研究につながる一定の成果を得ることができました。自分の研究内容を授業実習にどう反映させるか苦労しました。しかし、大学の教授(指導教官、もしくは先生)と実習先の担当の先生の指導助言によって、今までの学びを取り入れた授業実習になりました。学んだ理論と実習という実践の往還を経験できました。(現職教員E・・・中学校実習にて)

今回の関係機関実習では、県教育センターと東部教育事務所で実習をさせていただきました。どちらの教育行政機関も「児童・生徒とその保護者、そして、先生方のために」を合い言葉に業務を遂行されていました。現場で働いていると、悩んだり、不安を感じたりすることが多いのですが、そんな私たちを支援してくださる心強いサポート体制が整っていることを実感することができました。佐賀県の教職員全員で「チーム佐賀」を結成したいと思えた実習でした。(現職教員M・・・行政実習にて)

